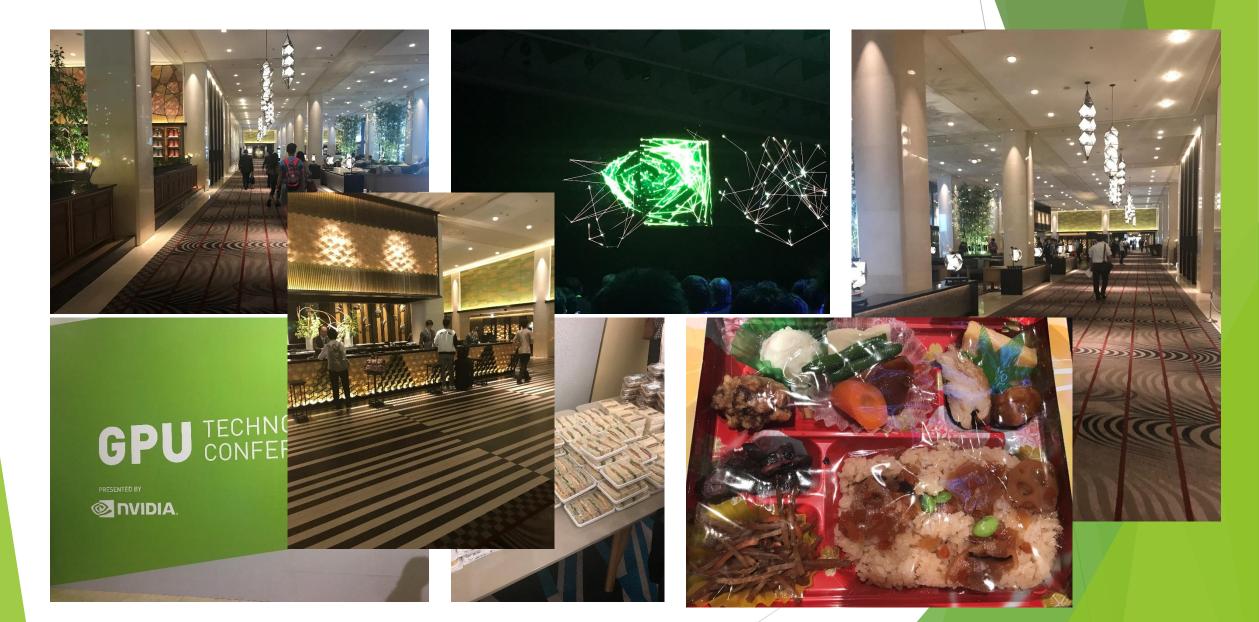
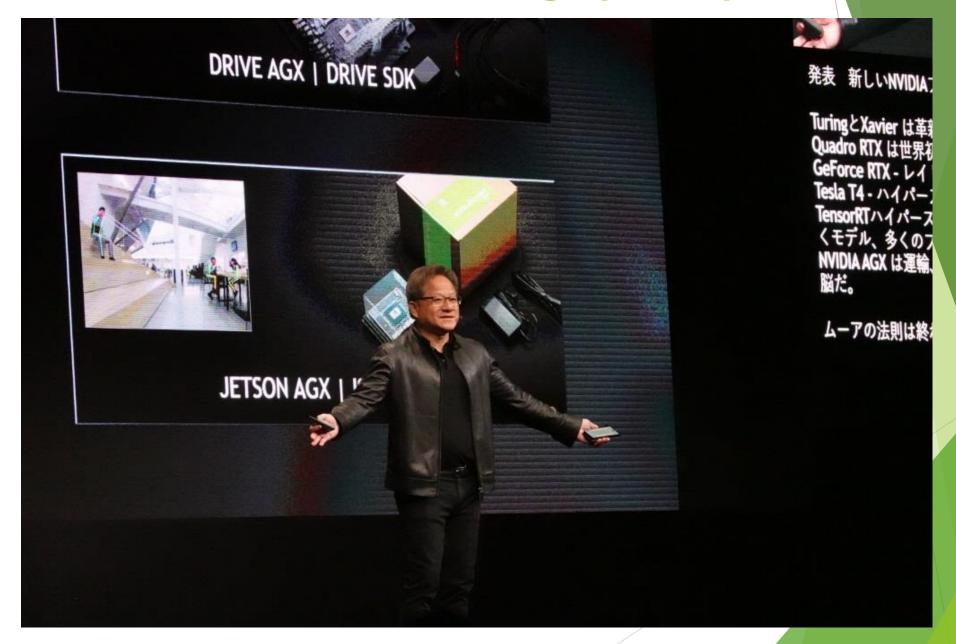
GTC Japan 2018

2018.09.13

会場:グランドプリンスホテル新高輪



基調講演: Jen-Hsun Huang (CEO)



CG業界の夢であったリアルタイムレイトレーシングを実現するRTXの紹介

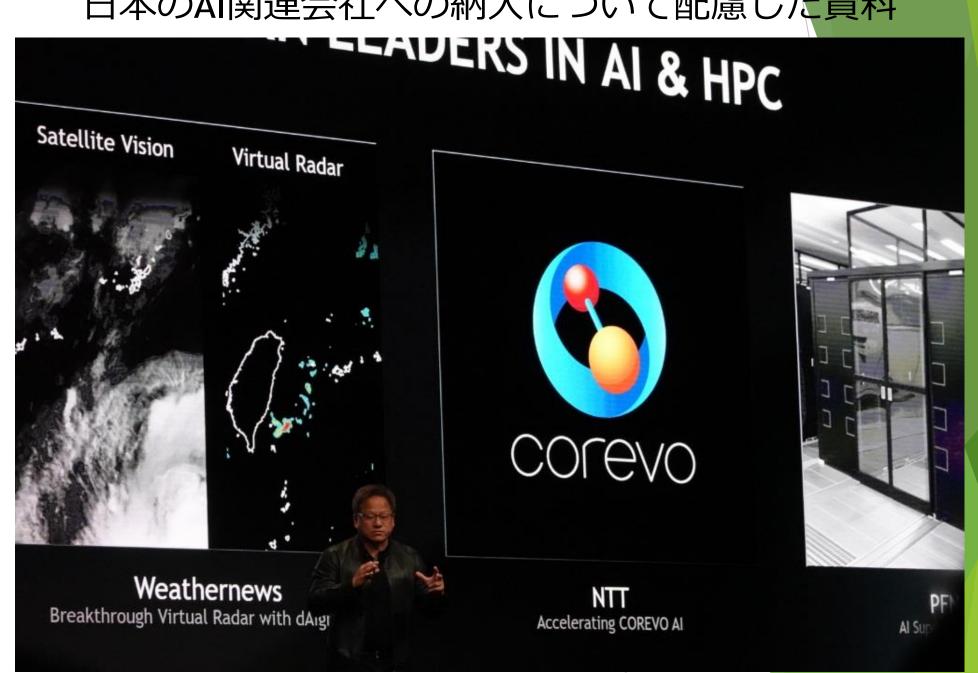


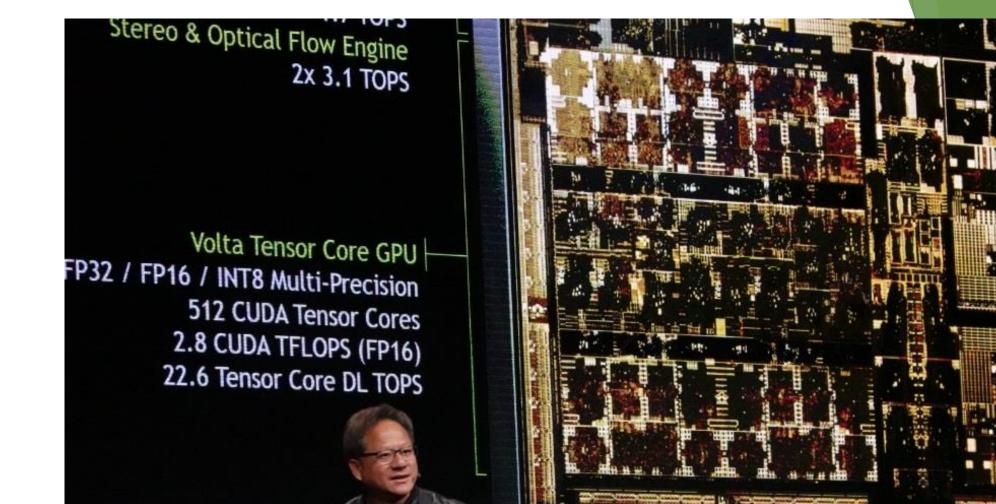
DGX-2も紹介

NEW NVIDIA DGX-2 THE LARGEST GPU EVER CREATED

2 PFLOPS
512GB HBM2
16 TB/sec Memory Bandwidth
10 kW | 160 kg

日本のAI関連会社への納入について配慮した資料





Nvidia Xavier(エッジコンピューティング) も販売しているよ1.5万

00000

Variational Autoencoders for NLP: Particular Difficulties, Recent Solutions, and Practical Applications Research Scientist, Cogent Labs

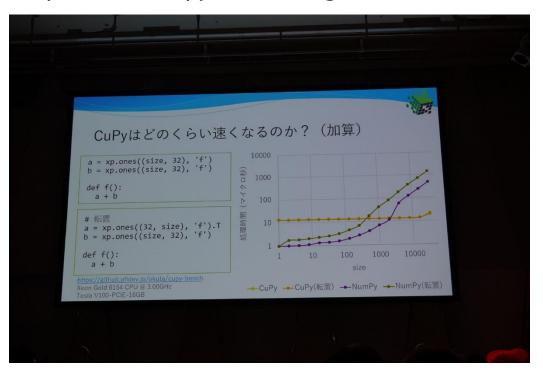
- 代官山にある超絶おしゃれオフィスであって、AIベンチャーでは有名で、いろんなバックグラウンドのリサーチャー、エンジニアが在籍している COGENT LABS のリサーチャーの発表。
- Variational Autoencoder(VAE) をテキストマイニングへ応用した例および、VAEの概論について説明されていました。VAEはこの辺をよめばいいです。(https://qiita.com/kenchin110100/items/7ceb5b8e8b21c551d69a)
- ▶ DiSAN についても言及されてました。論文はこちら

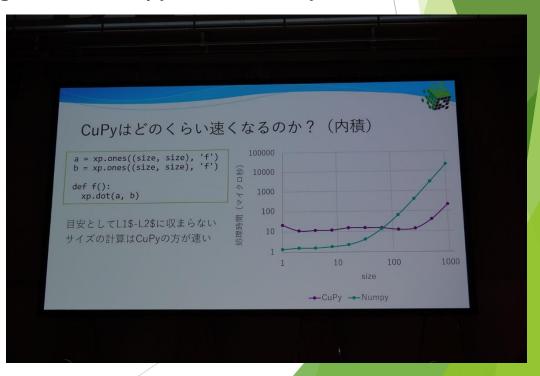
https://arxiv.org/abs/1709.04696

- これらの技術を利用したプロダクトとして Kaidoku という文書検索システム。クラスタリングや時系列表示ができるといも以下の会社や団体ですでに利用しているらしい。
 - ▶ 野村證券
 - リサーチャーが情報の整理などレポートの作成を支援する形で 利用されているということでした。作業スピードが90[%]削減されたとのこと。
 - ▶ 鎌倉市 市政などの評判分析的なものをtwitterのデータでやっている。 twitterの分析はいろんな崩れた表現、短文等で難しい。

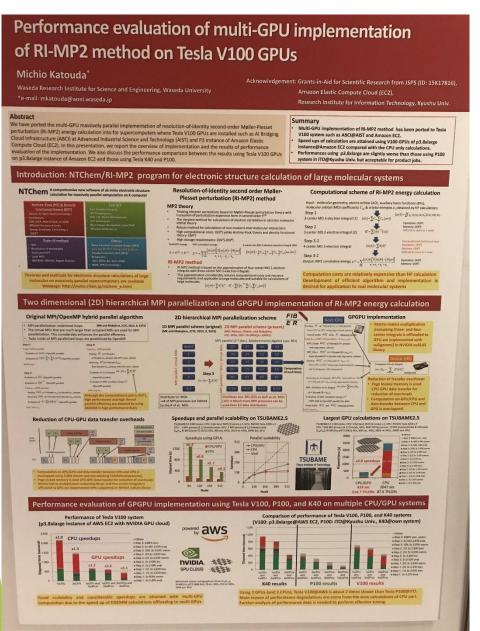
CuPy -NumPy 互換 GPU ライブラリによる Python での高速計算

- ▶ PFNの中の人の講演、chainerで利用されているGPUをnumpyのように利用できるCuPyのあれこれの発表
- 基本的にnumpyと同じIFと動作になるように心がけているが、GPU利用時のボトルネック (GPUメモリ転送、起動) などがあるので小さい規模のデータ処理では速度があたりまえだが、numpyにまけているのだが、、それを速くする努力はしている。
- ▶ Numpyで実装さているがCupyで実装されていない関数などの追加などがんばっている。
- ▶ GPUメモリがたりない場合は(UMAを使えるよ、性能はアレだどどうしても動かしたいときによい) https://docs-cupy.chainer.org/en/stable/reference/generated/cupy.cuda.MemoryPool.html





気になたポスター(ほとんど見れてない)



RI-MP2は2電子積分を計算する場合に 普通は四足(4中心積分)を3中心積分 近似フィッティングする手法。 GAMESSなどで利用されているようです きになる。(`・ω・´)ゞ

気になたポスター(ほとんど見れてない)



俳句よむやつあるんやー